

平成 29 年 3 月 29 日

ゴルファーの一步が一本の苗木に！

リソルゴルファーの森が『ビオトープ』に発展

～ 3 億 4226 万歩で奈良県吉野山の中腹に 300 本の植樹 ～

リソルグループ（本社・東京都新宿区）は、「人にやさしい」「社会にやさしい」「地球にやさしい」の 3 つの「やさしい」を全ての事業を通じて実現することを長期方針としています。その一環で、リソルゴルフ株式会社では 3 月 19 日に奈良県の吉野町において植樹イベントを行いました。

昨年、グループゴルフ場で開催した「いっぽから、いっぽん」キャンペーンは、ゴルフプレーの基本である「歩くこと」で、ゴルファーの健康促進を図るとともに、森の創造維持を図るべく、プレーヤーの合計歩数によって、ゴルフ場が寄付を行いました。寄付金を用いて、奈良県吉野町の「リソルゴルファーの森」に植樹され、社会貢献活動ができました。今年度の参加者 23,146 人の合計歩数は 3 億 4,226 万歩に達し、予想を超える多くの植樹が可能となり、吉野山中腹に「リソルゴルファーの森」を新しく確保し、桜の苗の植樹を行いました。今後は吉野町のこども園の園児達が育てたクヌギの苗木 300 本が植樹される予定です。

また、「吉野駅」近くにあった従来の植樹地は、「リソルゴルフ いのちのもり」（仮称）と改め、3 年後にはホテルが飛びかい、地元の子供たちが自然を学ぶ公園『ビオトープ（※）』として整備することが決まりました。国土緑化推進機構をはじめ、地元関係者等も参加し、ビオトープづくりのための記念式が行われ、ツツジや数種類の果樹などが子ども達の手により、植樹が行われました。

リソルグループでは、今後も地球環境保全への取り組みを行い、社会貢献に努めてまいります。

※『ビオトープ』（=BIO+TOPE）とは、もともとはドイツ語で、「生きものたちが生きているところ、生きものすみか、生きものが生きていける場所」という意味。

例えば、このビオトープを通して地元の子供も達が自然の仕組みを学ぶ場として、あるいは人と自然が関わる場として活用されることを意図しています。

▼ツツジや果樹などを子どもたちと一緒に植樹しました



▼「ビオトープ」完成イメージ



- ・小さな子どもの安全にも配慮した水深にする。
- ・水辺の草本は、地域の植生に配慮（近隣のものを植生）
- ・デッキや橋は、地域産の間伐材を使用。

<このリリースに関する問い合わせ先>

リソルホールディングス株式会社（RESOL グループ） 広報担当 / 高橋・永田・元村
 TEL : 03 (3342) 0331 (直通) E-mail : press@resol.jp URL : <https://www.resol.jp>